

令和6年度咲くやこの花賞受賞者
《文芸その他部門》

蟬谷 めぐ実 [小説]

1992年（平成4年）7月生まれ



[贈呈理由]

2020年、江戸の歌舞伎をミステリーの趣向を交えて描いた時代小説『化け者心中』で鮮烈なデビューを飾って以来、わずか数年の間に吉川英治文学新人賞や山田風太郎賞など、数々の文学賞を受賞。文化文政期の江戸の芝居小屋と界限を舞台に、芸の魔力に取りつかれた歌舞伎役者の業、芝居を愛する人々の喜怒哀楽を、当時の風俗や空気感とともに描き出す。圧倒的な創作力を誇る時代小説の新鋭として、今後さらなる飛躍が期待される。

[プロフィール]

1992年大阪府生まれ。早稲田大学文学部で演劇映像コースを専攻、文化文政期の歌舞伎をテーマに卒論を書く。2020年『化け者心中』で第11回小説野性時代新人賞を受賞し、デビュー。2021年に同作で第10回日本歴史時代作家協会賞新人賞、第27回中山義秀文学賞を受賞。2022年に刊行した『おんなの女房』で第10回野村胡堂文学賞、第44回吉川英治文学新人賞を受賞。2024年に刊行した『万両役者の扇』で第15回山田風太郎賞を受賞。他の作品に『化け者手本』などがある。